

# 森のおくりもの12月



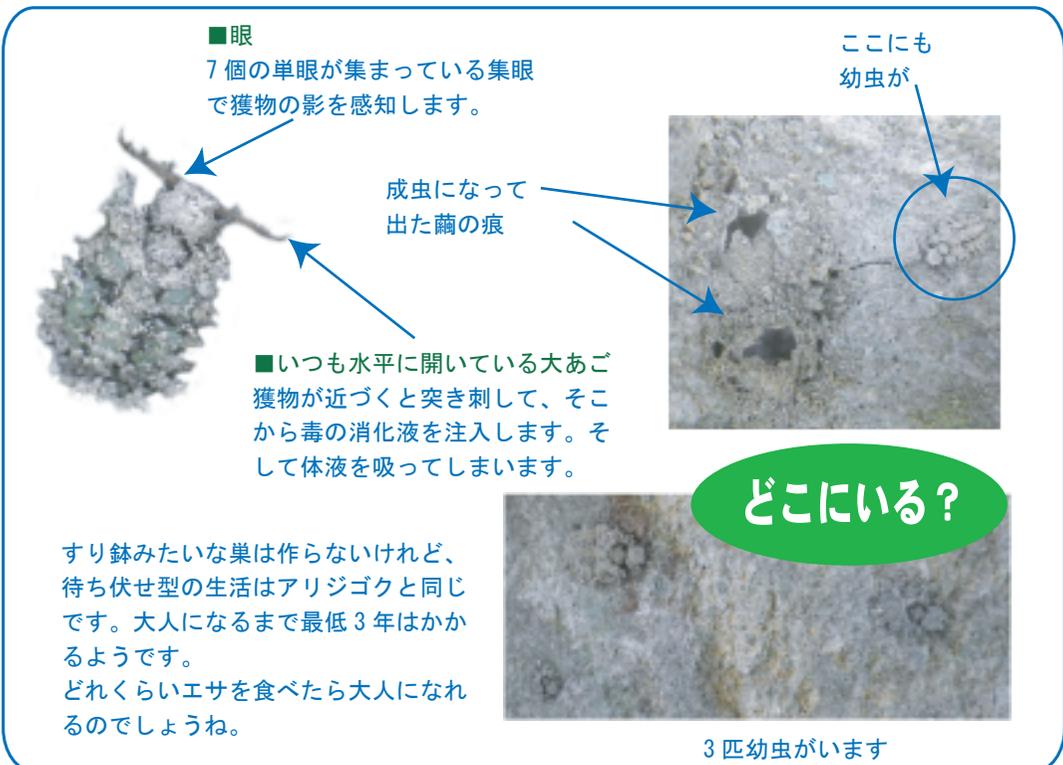
クスサン（ヤマムユガ科）の繭（まゆ）



11月は暖かくておだやかな日が多かったためか、紅葉を長く楽しめましたが、12月1日の木枯らしのような風で一気に落ちてしまいました。見通しが良くなった森は、地形がよくわかるようになり、まわりの山が低くなったようにさえ感じます。空がとても広く、そして青くなったような気がします。風の弱いおだやかな日を選んでのんびりと歩いてみませんか。人間の世界は何かと忙しい師走ですが、森の生き物たちはいつもの暮らしを続けています。「カサカサ…」とそこから聞こえるのは何の音でしょうか。【写真・文 早坂 徹】

# かくれんぼが上手すぎ コマダラウスバカゲロウ

小鳥の森の岩肌に地衣類がびっしりついているところがあります。その地衣類をよおしく見ていると他の生きものが**たくさん**（50匹以上）いることに気が付きます。**コマダラウスバカゲロウ**の幼虫です。自分の体にまで地衣類をつけているので、すっかり隠れてしまっており、初めて見たときはその巧みな変身術に驚きました。そして、私はその生き物が動いている姿をまだ見たことがありません。いつ見てもじい————として獲物が通りかかるのをいつまでも待っています。ちょっとくらい触ったって、驚いて動き出したりもしません。こんなところに獲物が通りかかる事なんてあるのだろうか？（一度小さなハエが止まったことはあった）いったい何日待っているのだろうか。と勝手にいろいろ想像してしまいます。



蝶の野原からヤマツツジへ上がる階段脇のスギにも2匹隠れていましたよ。  
見つけて観察してみてくださいね。

【レンジャー：黒川周子】

# 12月の生物ごよみ

11月25日、午前のガイドウォーク後、早坂館長から「フユシャクの子メスがいたよ。」との情報を教えてもらいました。調べてみると『チャバネフユエダシャク』というフユシャクの仲間でした。フユシャクとは冬季に出現するシャクガ科の蛾の総称で、この季節に森の中をひらひらと飛んでいるのをよく見かけます。また飛んでいるのはすべてオスで、メスは羽が退化し、飛ぶことが出来ません。今回見つけたのはそのメスの個体で、メスにはなかなか出会うことができません。昆虫というと暑い夏に出現するイメージがありますが、これらの仲間は寒くなったこの時期を活動期に選んだようです。他の動物の捕食から逃れるためでしょうか。この寒い冬に皆さんもそんなフユシャクの子メスを探してみたいはいかがですか。



チャバネフユエダシャクの子メス

## バードテーブルにやってくる野鳥たち

ほかにも  
いろいろな野鳥たちが  
集まってきますよ！

### シジュウカラ



15cm/ 留鳥

胸の黒い筋が特徴。  
オスはメスより太い。  
ヒマワリを食べる。

### ヤマガラ



14cm/ 留鳥

オレンジ色のお腹が特徴。見た目では雌雄の区別はつかない。

### ヒヨドリ



28cm/ 漂鳥  
留鳥

バードテーブルを占領し、他の鳥を追いつぶすこともある。

### スズメ



14cm/ 留鳥

集団でやってきてヒエ・アワなどを食べに来る。ヒマワリの餌台にも来るがうまく食べることが出来ない。

### キジバト



33cm/ 留鳥

別名ヤマバト。餌台に上ることはほとんどなく、地面で二フトリのエサなどをついばむ。

### アオジ



16cm/ 漂鳥  
留鳥

バードテーブルにはのらず、地面にまいたエサをついばんで食べる。数匹でやって来る。

【レンジャー：齋 正宏】

- ※漂鳥 暑さや寒さを避けるため夏は山地、冬は平地というように繁殖地と越冬地を区別して日本国内を季節移動する鳥。
- ※留鳥 年間を通して同じ場所に生息し、季節による移動をしないもの。
- ※冬鳥 越冬のために日本より北の国から渡ってきて、冬を日本で過ごし、冬が終わると再び繁殖のために北の国に渡って行く鳥。

## 森のことは

自然の様子やできごとを四字熟語やことわざなどに当てはめ、森で感じた言葉をお届けします

### 『有終の美を飾る（ゆうしゅうのびをかざる）』

朝晩の冷え込みが強まり冬の訪れを感じる頃、色とりどりに色付く森の光景に目を楽しませてもらいました。紅葉は落葉広葉樹の美の集大成ですね。

こんな様子から「有終の美を飾る」が浮かびました。「最後を立派に飾る、素晴らしい結果にする」という言葉です。「ものごとをやり通し、最後を立派に仕上げる」という意味なので、仕事やスポーツなどでよく耳にします。

語源を調べたところ中国の古い詩集の「初めは誰でもやるけれど最後までやり遂げる人は少ない」という文章の一節が由来で、「ものごとを始めるのは簡単だけど、最後まできちんとやり遂げるのはものすごく難しい」という意味です。“何かをやり抜くことの大切さ”を伝えていて、よく聞く使われ方と語源の本来の意味とは感覚が少し違うように思いましたが、木の葉の様子にはどちらも当てはまるなあと感じました。

春に芽吹いて新緑が美しく輝きます。虫に喰われてしまったりもしますが、虫の食べ痕や繭などの虫の仕業もおもしろく、自然の様子を楽しませてくれます。途中で枯れてしまったり風に飛ばされたりと数々の試練を乗り越え、一生懸命に光合成を頑張った結果、鮮やかに紅葉します。「有終の美を飾る」は、樹木の成長を担っていた葉にふさわしい言葉だと思いました。

葉の役割はそれで終わりではありません。落葉したら落ち葉の布団で林床を守ります。落ち葉は土壌生物などの食べ物や、カビやキノコなど菌類が分解して植物の養分になります。無駄なものがない自然のしくみはすごいですね。

私は「有終の美を飾る」ことはできていませんが、悔いなく最後までやり通したと感じられる人生にしたいと思います。

【レンジャー：新田隆一】



# 森の「おとしもの」



## その8 「お気に入りには？」

いきものの気配が減って少し寂しい季節ですが、足元をまるでパッチワークを敷き詰めた様な“おとしもの”がありました。見上げるとコハウチワカエデです。青空に透かして見る紅葉に足を止めしばし見とれていました。観察の森の紅葉は他にハウチワカエデ、ヤマモミジ、ウリハダカエデなどモミジの仲間、サクラの仲間、ウルシの仲間、ドウダンツツジ…、黄葉はイタヤカエデやタカノツメ、コシアブラ、ハリギリ、ヤマブキなど思いつきます。



さて皆さんのお気に入りの紅（黄）葉はありますか？私は「メグスリノキ」です。カエデの仲間らしくない地味な形の葉っぱですが、緑から深紅に変わる間の淡い赤色の美しさは、たとえばありません。緑色の時は全く気づかないのに紅葉の頃「あそこにもメグスリノキあった！」ということがしばしばです。

12月初め、紅葉全体のピークは過ぎていますがよく探すと小さな樹などに紅葉が残っています。本格的な冬を迎える前に森で小さな秋を探してみませんか。

【レンジャー：木田秀幸】





# 12月



# のイベント & お知らせ



## ◆おはよう野鳥かんさつ

・講師の案内で、冬の森で野鳥を探します。

【日 時】12月15日(土) 7:00~8:30

【定 員】なし 【持ち物】暖かい服装で、(持っていれば)観察用具

【申込み】不要、直接センター前へお越し下さい。

※双眼鏡を無料で貸し出します、免許証等本人確認できる身分証をお持ち下さい。

## ◆木の実でクリスマスオーナメントを作ろう

・松ぼっくりや木の実などで、すてきなクリスマス飾りを作ります。

【日 時】12月15日(土) 13:30~15:30

【定 員】15名 [先着制 電話受付] 【費用】100円(材料費)

【持ち物】動きやすい服装、ビニール袋、飲み物、雨具

【申込み】12月6日(木) 午前9時から電話で

## ◆12月から野鳥のレストランOPEN!

・12月1日(土)より野鳥のための餌台を設置します。

あたたかい研修室から鳥たちの姿を間近に観察しませんか?

## ◆12月~3月のガイドウォークは午前みの開催です。

・開催時間: 10:00 ~ 11:30 お間違いないようお越し下さい。

毎週  
日曜は

### 『ガイドウォーク』の日!

開催日: 2日、9日、16日、23日

開催時間: 10:00~11:30

23日は観察センター館長がご案内します。

今月のテーマは「落ち葉を踏みしめて」



### 森のちいさな アトリエ

準備してある材料を使って、誰でも自由にクラフトが作れます。  
12・1月はまつぼっくりクラブ



### 12月の休館日

3日、10日、17日、  
25日、※24日は  
祝日で開館します。

### 【年末年始】

28日(金)から  
1月4日(金)  
まで休館します。



### 宮城交通バスの場合

- ① 仙台駅 乗車時間 約40分
  - ② 長町駅東口 乗車時間 約30分
  - ③ 八木山動物公園駅 乗車時間 約10分
- 【行先】①②③ 「太白団地経由山田自由ヶ丘車庫行」乗車  
(※③のみ乗車可「太白団地、山田自由ヶ丘経由山田自由ヶ丘ニュータウン行」)  
いずれも 公営アパート前 下車→ 徒歩15分



### お車の場合

国道286号線の山田交差点から太白団地方面へ。  
道々の案内板に従って約10分で駐車場へ。徒歩5分でセンター

### ♪森へおいでください♪



自然観察の森の最新情報、  
「森のおくりもの」バックナンバーは  
Webで!

「社のひろば」URL: <http://www.sendai-park.or.jp/web/info/taihakusan/index.html>

2018年12月号(毎月1回5日発行)

発行: (公財) 仙台市公園緑地協会

編集: 仙台市太白山自然観察の森 自然観察センター

〒982-0251 仙台市太白区茂庭字生出森東36-63

Tel: 022-244-6115 FAX: 022-244-6133